



輝く未来があるように思えた1970年、どのようなプロジェクトが実現したのか。それから55年、人間の力が大きくなりすぎた時代、私たちは何を提案するのか。

2025年万博公園の森 子どもたちの原っぱ

1970 思い出の風景 2025



1970年戦災に遭わなかったまち 千里南公園 牛が首池 2025年開発に遭わなかったまち

思い出の風景 建築家の旅の続き 写真展

日時 2025年11月14日(金) 15日(土) 16日(日) 時間 14時から18時

場所 AH87 関大前の家 〒564-0073吹田市山手町3-9-21

お問い合わせ mail tsuka7071@hotmail.co.jp 塚口建築研究室 塚口明洋



2025年 垂水神社の鎮守の森 2025年 千里ニュータウンの公園 2025年 山田の旧集落

1970 思い出の風景 2025

建築家の旅の続き



昔も今も子供たちを見ていると幸せそうに見える。そんな世界の中で建築家の役割は微力だと思うが、空間をデザインする建築家だからこそ気がつく、思い出の風景の大切さをみなさんに知ってもらいたいと思っている。
「1970年大阪 戦災に遭わなかったまち」
ブログ/建築家の旅の続きより



2025年 建築家の仕事をやめて2015年頃から千里丘陵や阪神間の街歩きをする。すっかり大きくなった木の緑豊かな風景を楽しむ。千里ニュータウンや周辺に残る懐かしい集落、神社、田園風景を見る。関大前の我が家から2時間で万博公園に歩いて行く道が面白い。家のすぐ後ろにある関西大学のキャンパスから歩き始める。千里山から歩いて10分のところの田園風景を通り抜けると佐井寺の旧集落がある。次に千里ニュータウンの周辺緑地帯を超えると山田の旧集落に入る。そこを抜けて万博の外周道路を横断すると、万博跡地に残された太陽の塔が見える。子供たちが広い空地で遊ぶ「奇跡の万博公園」の森に到着する。

